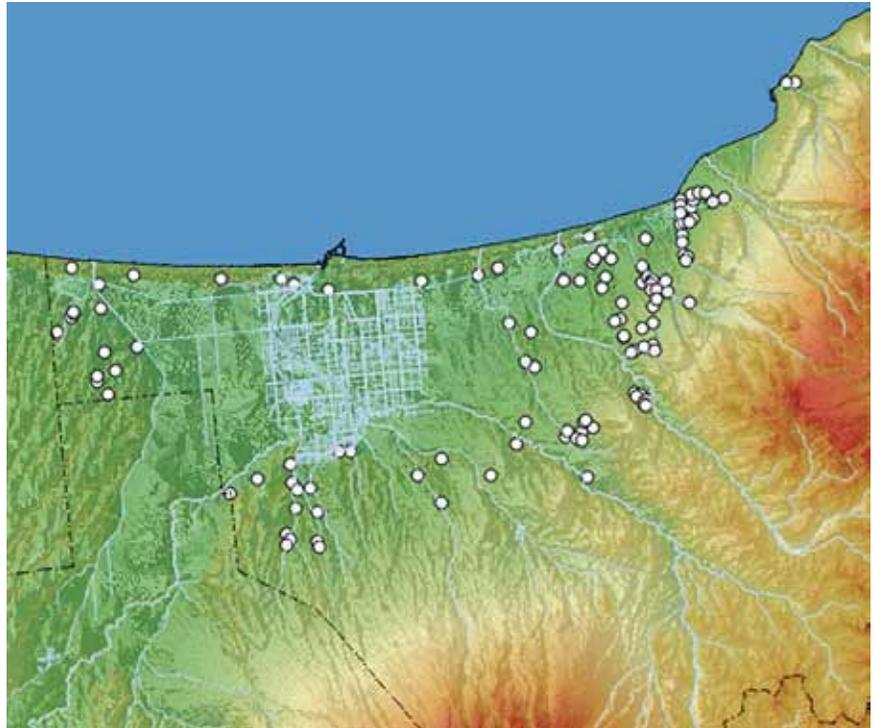


# 困った時は地図をクリック！



地図データ©2015 google,ZENRIN使用  
図はデータシティ鯖江の「さばえ百景の位置」を抜粋した  
もの。

斜里町の縄文中期遺跡マップ

津波がやってきたらどこに避難すればいいの  
だろう？ ここから一番近い公衆トイレはどこ  
にあるのだろう？ 皆さんはこんなことを考  
えたことはありませんか。実はこのような情  
報が簡単に手に入る自治体があります。福  
井県鯖江市では、行政で保有する情報(公  
衆トイレ、AED、道路工事の位置)をweb  
上で公開しています。さらに、市民が使い  
やすいように、携帯電話やスマートフォン  
で見られるアプリを開発したのだそうです。  
「さばえ百景の位置」というアプリもあり、  
「これは『知床八景』バージョンを作らねば！」  
と思いました。

一方北海道では、室蘭市が災害時の避難  
場所や津波・洪水で浸水する深さの予想  
図等のデータを公開して、誰でも利用で  
きるようにしています。「みんなのマップ  
for 室蘭」というアプリでは、行政でも  
持っている情報を公開するだけでなく、  
住民が気づいた情報(街灯切れ・危険箇  
所など)を地図上に投稿できるようにな  
っており、投稿を受け取った市役所が対  
応するという仕組みになっています。今こ  
のような行政情報の公開(オープンデー  
タ)が全国で進みつつあります。

オープンデータになると嬉しいのは一般  
市民だけではありません。考古学の分  
野では、遺跡や文化財(史跡など)の位  
置や範囲がすぐわかれば、研究者や歴  
史ファンは助かります。斜里町の場合、  
博物館に来て紙の遺跡地図を広げて見  
なければなりません。オープンデータに  
なると全国の誰でも、どこからでも  
簡単にアクセスすることができます。こ  
のようなデータの取

り扱いを学ぶために、奈良県で行われ  
た研修会に参加しました。研修会では  
無料ソフトを使用した、簡単な遺跡マ  
ップ作りを体験しました。私はまだ初  
心者なのでちょっとした図を作るので  
精一杯ですが、将来的にはウェブサイト  
上で遺跡や文化財の名前をポチッと  
クリックすると、普段皆さんがスマ  
ホのアプリなどで使っているグー  
グルマップ上に写真や説明が表示で  
きるようなものを作りたいと考えてい  
ます。これがあれば、観光の下見や、  
行ってみたいけど体力的に厳しいとい  
う方にその場の雰囲気を感じてもら  
うことができます。

また、時間のかかっている情報の更新  
も楽に行えます。今は新しい遺跡が  
見つかったら、紙の地図に手書きで  
書き加えています。デジタル版を作  
っておけば、膨大な情報の中から今  
知りたいことに的を絞って地図に  
表示することも、修正や追加も素  
早く行うことができます。今まで  
膨大な時間と労力をかけていた作  
業が一瞬で処理できてしまうので  
す。研修会では皆声をそろえて「  
便利な時代になりましたねえ」と  
話していました。便利なものを皆  
さんにとってより身近なものに  
できるように、これからも勉強し  
て紹介していきたいと思  
います。  
(平河内 毅)

発行 知床博物館協力会 2015.1.25  
099-4113 北海道斜里郡斜里町本町49  
斜里町立知床博物館内  
TEL: 0152-23-1256 FAX: 0152-23-1257  
<http://shiretoko-ms.sakura.ne.jp/>